

令和7年度 第5回青森県特別支援学校総合スポーツ大会 開催要項

1 大会趣旨

県内特別支援学校生徒が一堂に会し、スポーツ競技を行うことを通じて、スポーツの技能向上及び心身の健康の維持増進を図るとともに、生徒相互の親睦を図る。

2 主催

青森県特別支援学校スポーツ連盟

3 共催

青森県教育委員会 青森県特別支援学校校長会

4 後援

特定非営利活動法人青森県障害者スポーツ協会

青森県障害者スポーツ指導員会

青森県ボッチャ協会

一般社団法人青森県サッカー協会

青森市バスケットボール協会

青森県バレーボール協会

青森県特別支援学校PTA連合会

一般社団法人青森県理学療法士会

青森県障害者フライングディスク協会

一般財団法人青森県バスケットボール協会

一般財団法人青森陸上競技協会

青森県軟式野球連盟

青森市教育委員会

5 会場

新青森県総合運動公園（青森市大字宮田字高瀬2-2-2）

各特別支援学校

6 期日

令和7年7月10日（木）

7 日程

9：00～

開場

9：30～

監督会議 ※詳細については、各競技実施要項参照

10：00～

各競技開会式 ※詳細については、各競技実施要項参照

競技開始及びウォーミングアップ開始

15：00

全競技終了予定

8 実施競技および参加対象

県内特別支援学校中学部・高等部生徒

㊦…感染症の状況等によりオンラインへの変更有

競 技	種 目	知的	肢体	病弱	視覚	聴覚
ボッチャ競技 ※合同チーム可	中学部	●	●	●	●	●
	高等部	●	●	●	●	●
チャレンジボッチャ競技	2 mクラス	●	●	●	●	●
	4 mクラス	●	●	●	●	●
フライングディスク競技 ㊦	アキュラシーディスリートスリー	●	●	●	●	●
	アキュラシーディスリートファイブ	●	●	●	●	●
	アキュラシーディスリートセブン	●	●	●	●	●
	ディスタンス（座位・男子）	●	●	●	●	●
	ディスタンス（座位・女子）	●	●	●	●	●
	ディスタンス（立位・男子）	●	●	●	●	●
	ディスタンス（立位・女子）	●	●	●	●	●
チャレンジフライングディスク競技	アキュラシーディスリートスリー	●	●	●	●	●
	アキュラシーディスリートファイブ	●	●	●	●	●
サッカー競技 学部区分なし ※合同チーム可	サッカー【男女混合可】	●		●	●	●
チャレンジサッカー競技	シュート部門 5 m	●	●	●	●	●
	シュート部門 10 m	●	●	●	●	●
バスケットボール競技 ※合同チーム可	バスケットボール【中学部・男子】	●		●	●	●
	バスケットボール【高等部・男子】	●		●	●	●
	バスケットボール【中学部・女子】	●		●	●	●
	バスケットボール【高等部・女子】	●		●	●	●
チャレンジバスケットボール競技	260 cm部門	●	●	●	●	●
	305 cm部門	●	●	●	●	●
	車いす部門		●			
陸上競技 学部区分なし ※合同チーム可	50 m	●		●	●	●
	50 m（車いす常用・使用）		●			
	50 m ※A		●			
	50 m ※B		●			
	100 m	●		●	●	●
	800 m	●		●	●	●
	4×100 m リレー 【男女混合】	●	●	●	●	●
バレーボール競技 学部区分なし ※合同チーム可	バレーボール【男女混合可】	●		●	●	●
チャレンジバレーボール競技	パスラリー部門 個人	●	●	●	●	●
	パスラリー部門 2人組	●	●	●	●	●
フットソフトボール競技 学部区分なし ※合同チーム可	フットソフトボール【男女混合可】	●		●	●	●
オンラインチャレンジボッチャ競技	2 mクラス	●	●	●	●	●

（1）※A・Bについては、「陸上競技実施要項」を参照のこと。

（2）出場チームが少ないなどの理由で競技が成立しない場合は、各専門部の代替案で実施する。

（3）荒天時等の実施態度については、別紙3に則り各専門部で決定する。

（4）各競技会場図については、別紙1参照のこと。

9 競技規則

「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び「青森県特別支援学校総合スポーツ大会各競技申し合わせ事項」による。

10 表彰及び認定

原則として競技終了後直ちに各競技専門部で表彰を行う。※詳細については各競技実施要項参照。
各校において実施したチャレンジ競技の認定については、各専門部が定めた方法によるものとする。

11 各競技スタッフ（予定）

選手の健康及び安全管理や競技の円滑な運営を目的に、各競技公認審判や医師、看護師、理学療法士、高校生競技スタッフ等各方面に協力を依頼する。

会場	メインアリーナ・サブアリーナ			球技場	多目的広場	陸上競技場		各校	計
競技	ボッチャ	バスケット ボール	バレーボール	サッカー	フットソフト ボール	陸上競技	フライング ディスク	オンライン	
運営	30	21	12	16	8	55	56	2	200
専門部理事等	6	5	3	6	4	5	6	2	37
競技スタッフ	24	16	9	10	4	50	50	—	163
公認審判	4	6	2	3	5	30	10	—	60
救護	メインアリーナ常駐			球技場常駐		陸上競技場常駐		—	
	理学療法士1			理学療法士1		医師1、看護師1		—	4

12 プライバシーへの配慮を希望する場合の確認事項

※ プライバシーへの配慮とは、本大会における参加者及び見学者の顔及び氏名の公表をしないことを指す。

- (1) プライバシーへの配慮を希望する生徒は、連盟事務局が用意するビブス、リストバンド等を常に身に付けることとする。
- (2) 生徒及び保護者に対しては、中学部または高等部を設置する県内特別支援学校を対象としていることから、連盟事務局からの配慮依頼だけでは、全てにおけるプライバシーへの配慮は難しい旨を各学校で確認し、了承を得ることとする。
- (3) 大会等の会場における撮影映像等及びこれらのデータについては、個人的に不特定多数の者に頒布したり、又はインターネット上やその他の方法でこれを公開して拡散させたりしないこととする。
- (4) 対応について

①参加者

- ・連盟事務局及び各専門部での対応とする。連盟事務局が報道各社へプライバシーへの配慮を依頼する。対象は撮影の被写体が参加者（競技中及び待機中も含む）とする。

②見学者

- ・各学校での対応とする。プライバシーへの配慮を希望する見学者の動きを把握し、撮影している場面への対応を講じる。

13 提出書類について

(1) 参加申込

①参加方法

- ・原則として1人1競技のエントリーとする。
- ・学校単位で選手団を編成し、競技別に申し込むこととする。

ただし、団体競技については、学校単位でチーム編成ができない場合は、合同チームとしての参加を認める。(別紙2参照)

②申込書類

各様式については、青森県特別支援学校スポーツ連盟ホームページよりダウンロードし、必要事項を記載し、提出することとする。

③申込期間

令和7年5月7日(水)～21日(水)

④申込方法及び申込先

参加する競技の参加申込書をメールにて提出することとする。申込先については、当該競技専門部主管校とする。(下記一覧表参照)

＜申込先及びメールアドレス一覧表＞

競技名	申込先(専門部主管校)	メールアドレス
ボッチャ競技	弘前第二養護学校	2020ases008@gmail.com
フライングディスク競技	森田養護学校	2020ases014@gmail.com
サッカー競技	青森第二養護学校	2020ases002@gmail.com
バスケットボール競技	青森若葉養護学校	2020ases003@gmail.com
陸上競技	七戸養護学校	2020ases015@gmail.com
バレーボール競技	浪岡養護学校	2020ases006@gmail.com
フットソフトボール競技	八戸高等支援学校	2020ases011@gmail.com
オンラインチャレンジ ボッチャ競技	青森第二高等養護学校	2020ases005@gmail.com

14 合同チーム編成用フォームについて

- (1) 合同チームの調整を希望する学校は、下記URLまたは二次元バーコードから合同チーム編成用フォームに自校の状況を回答し、各校の回答を参考の上、関係学校間で調整することとする。
- (2) 合同チーム編成用フォームへの入力期間は4月21日(月)～5月9日(金)とする。
- (3) 青森県特別支援学校スポーツ連盟ホームページからも、合同チーム編成用フォームに入力することができる。

①ボッチャ競技

<https://forms.gle/hDamt8PCfd7WvP7i9>



②サッカー競技

<https://forms.gle/MjdbyMCu7rtc5X1X6>



③バスケットボール競技

<https://forms.gle/64LYYHukHVUBiabK6>



④陸上競技4×100mリレー

<https://forms.gle/7yXuyBKpnsVukowA9>



⑤バレーボール競技

<https://forms.gle/GEfwriFndYh6F4tZ7>



⑥フットソフトボール競技

<https://forms.gle/o23rvzrH7UWaRi758>



【青森県特別支援学校スポーツ連盟】

青森県立青森第二養護学校内

所在地 030-0951 青森県青森市大字戸山字宮崎56番地

電話 017-743-4115

FAX 017-743-4117

E-mail toku-spo-ren.aomori@asn.ed.jp

WEB <https://www.toku-spo-ren.aomori.asn.ed.jp/>

理事長(教頭) 甲 田 真希子

事務局長 福 田 寛

令和 7 年度 第 5 回青森県特別支援学校総合スポーツ大会 各競技会場

＜新青森県総合運動公園

マエダアリーナ メインアリーナ＞

○バスケットボール競技

○バレーボール競技

○総合受付

＜新青森県総合運動公園

マエダアリーナ サブアリーナ＞

○ボッチャ競技

＜新青森県総合運動公園球技場＞

○サッカー競技

＜カクヒログループアスレチックスタジアム

新青森県総合運動公園陸上競技場＞

○陸上競技

○フライングディスク競技（主競技場フィールド内）

（荒天時：室内練習場）

＜新青森県総合運動公園多目的広場＞

○フットソフトボール競技



青森県特別支援学校スポーツ連盟

合同チームによる大会参加についての基本的な考え方

近年、全国的な少子化の影響を受けて、中体連・高体連等が主催する各種競技会において、近隣校同士により編成した合同チームでの参加が増加している状況にある。

本連盟主催の総合スポーツ大会においても、チームの人数不足により大会参加を断念せざるを得ない学校があることが課題となる。

そこで、このことについて、本連盟としても教育的配慮のもと、下記の通りに基本的な考え方を定めるものとする。

記

基本的な考え方

- 1 合同チームを編成できるのは、単独での参加が困難な学校同士を基本とする。
- 2 合同チームによる参加は、団体競技のみとする。
- 3 合同チームを編成する際は、各学校長の承認を得ることとする。
- 4 合同チームによる大会参加の際には、各校 1 名以上の引率を原則とする。

青森県特別支援学校スポーツ連盟

青森県特別支援学校総合スポーツ大会 荒天時等対応要領

1 開催態度の決定手順

- (1) 天候の状況等を勘案し、各競技専門部において競技日程を検討し、各競技専門部長が決定する。その後、決定内容を連盟事務局に連絡する。
- (2) 各競技の状況については、連盟事務局へ問い合わせることとする。

2 競技日程の変更

大雨や強風等の荒天またはその他不測の事態が生じた影響により競技日程を変更（中止を含む）する必要がある場合や、そのおそれがある場合には、次の各項目について検討することとする。

(1) 変更が考えられる場合

- ①大雨・強風等により競技施設を競技可能な状態に保てない場合。
- ②競技運営に必要な人員が集合できない場合。
- ③選手が会場に集合できない場合。
- ④災害対策等で大会開催に必要な対応ができない場合。
- ⑤県内の広範囲に及ぶ大規模な災害が発生した場合または社会的に大きな事件等が発生した場合。

(2) 変更内容

原則として以下の①～③の変更とする。

- ①競技開始時刻を遅らせるまたは競技開始時刻を前倒しする（天候の回復を待って競技を実施する場合や台風接近前に競技を実施する場合等。ただし、全日程を消化しないまま大会を終える場合も含む。）。
- ②競技日程・競技種目の一部を中止する。
- ③全日程を中止する（台風接近等により競技開始前に競技施設を撤去し、再設営ができない場合等）。

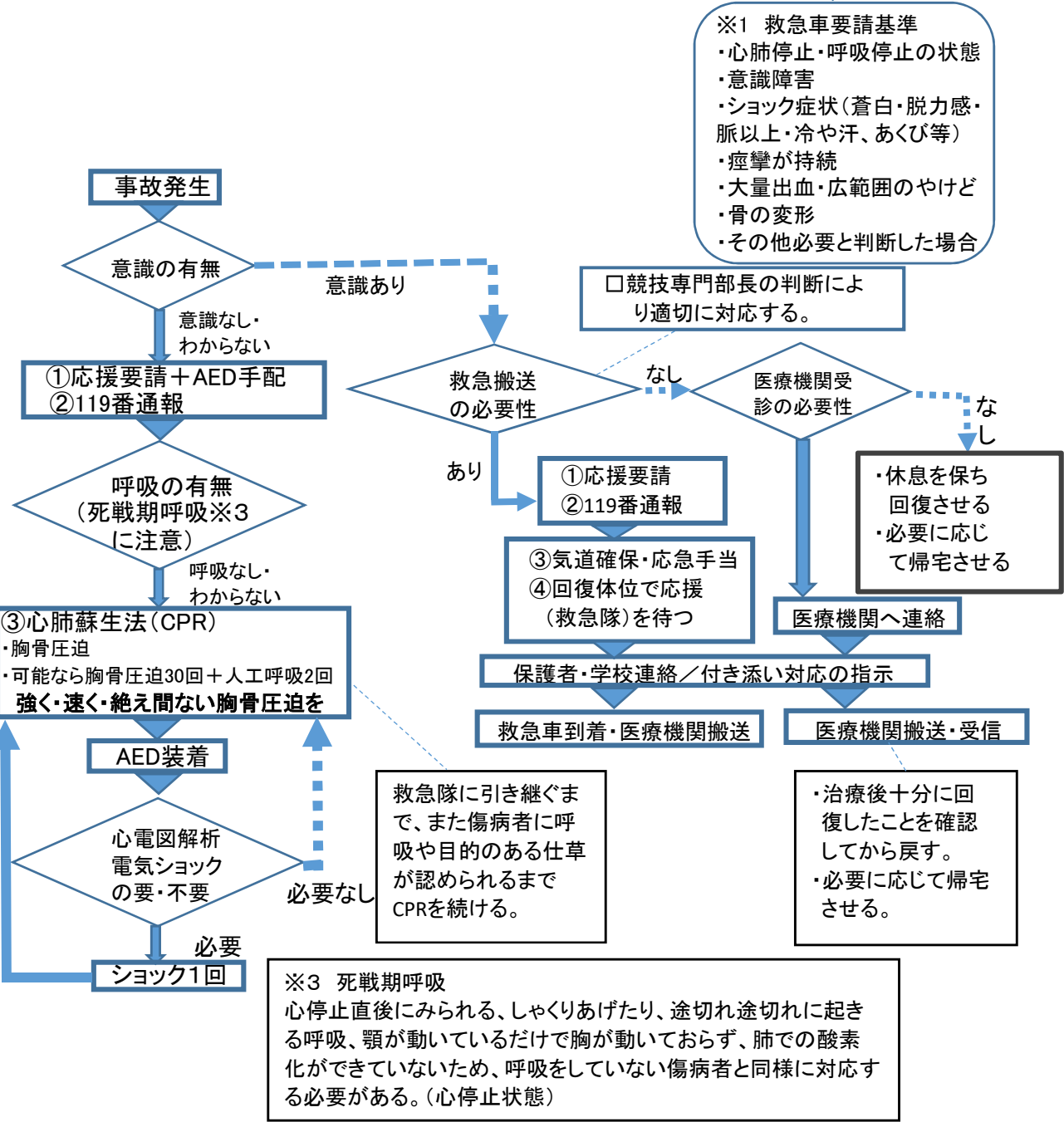
3 変更の周知方法

- (1) 各競技日程の変更については、大会前日の午後 5 時までに、専門部担当者が連盟事務局に連絡する。
- (2) 突発的な災害等が発生した場合など、当日に変更があった場合には、午前 6 時 15 分以降、決定し次第連絡することとする。
- (3) 連絡が入り次第、連盟事務局が連盟ホームページに掲載する。

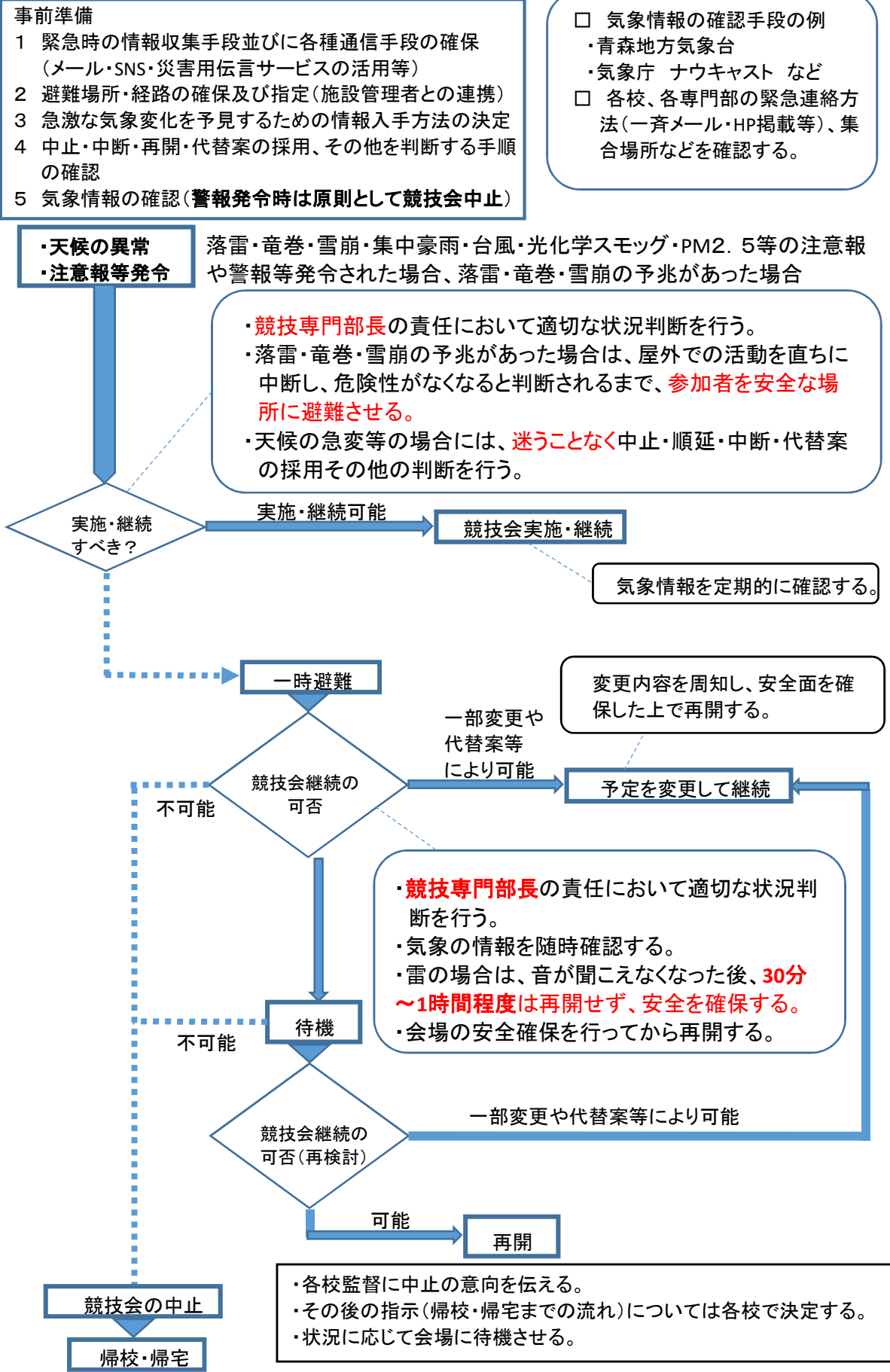
青森県特別支援学校スポーツ連盟 危機管理マニュアル

危機管理 急病者・負傷者発生時対応（一次救命処置）

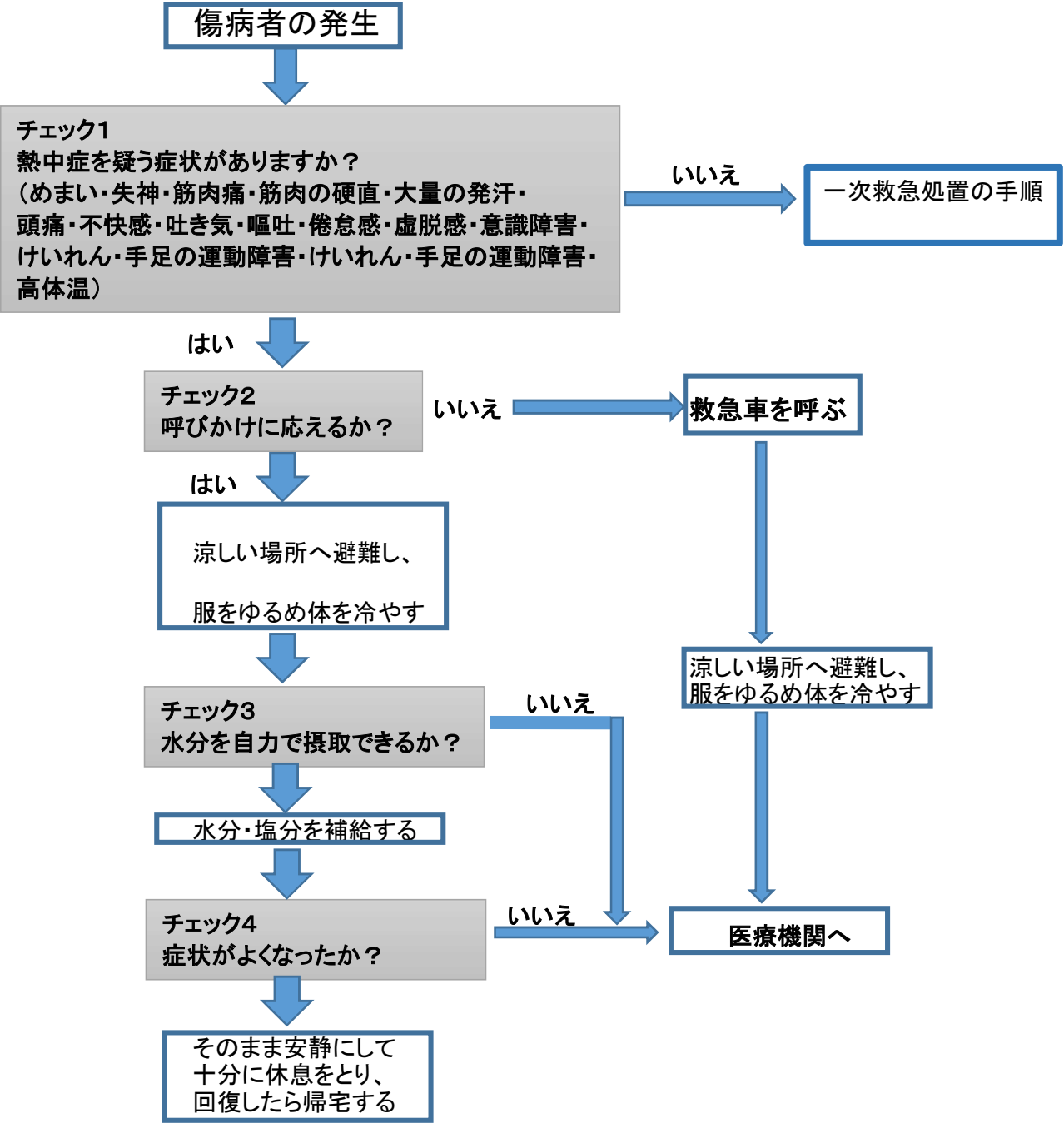
- 事前準備
- 1 競技専門部内共通理解事項①医療機関連絡先②救急車要請基準（※1）③医療機関へ引き継ぐまでの手順
 - 2 急時の情報収集手段並びに各種通信手段の確保（メール・SNS・災害用伝言サービスの活用等）
 - 3 競技専門部で一時救急処置に係る適切な対応（心肺蘇生法・AED利用）ができるよう準備しておく



荒天時対応



熱中症の応急処置



暑さ指数に応じた注意事項等

気温（参考）	暑さ指数（WBGT）	熱中症予防運動指針	
35℃以上	3.1℃以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
31～35℃	2.8～3.1℃	厳重警戒（激しい運動は中止）	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。暑さに弱い人（体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れてない人）は運動を軽減または中止。
28～31℃	2.5～2.8℃	警戒（積極的に休憩）	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24～28℃	2.1～2.5℃	注意（積極的に水分補給）	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	2.1℃未満	ほぼ安全（適宜水分補給）	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。市民マラソンなどでは、この条件でも熱中症は発生するので注意。

WBGT(暑さ指数)とは、単位は気温と同じ摂氏度(℃)で示されるが、その値は気温とは異なる。WBGT(暑さ指数)は、①湿度、②日射・輻射など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れ、算出した指数である。

WBGT(暑さ指数)は、気象条件が同じであってもその場所が、日差しがあたるかどうか、地面が何に覆われているか、風通しがよいか等で大きく変化するため、それぞれの場所で測定することが望ましい。

- 【参考】 大会における暑さ対策
- 暑さへの暴露を減らす
 - イベント会場にテントなどで日陰のエリアを作る。
 - 水のスプレーやミストエリアを提供をする。
 - 情報提供
 - 会場のアナウンス等で熱中症の危険性や対策を伝える。
 - 救護所の設置と救急処置の準備

公益財団法人日本スポーツ協会
「スポーツ活動中の熱中症予防のガイドブック」(2019)より

環境省
「～イベント主催者・施設管理者のための～
夏季のイベントにおける熱中症対策ガイドライン2020」より